

事前評価表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和7年度～令和11年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（おものがわ） 雄物川森林計画区 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 あきた 秋田森林管理署 あきた 秋田森林管理署湯沢支署
事業の概要・目的	本事業は、秋田県の中央から南部に位置する、秋田市をはじめとする5市2町1村に所在する約15万5千haの国有林野を対象としている。 本計画区は、北部は焼山（1,366m）、八幡平（1,613m）などの奥羽山脈北部山岳が連なり、東部は奥羽山脈が南北に縦走し、駒ヶ岳（1,637m）、和賀岳（1,439m）、栗駒山（1,626m）神室山（1,365m）などの山岳により岩手県、宮城県及び山形県と接しており、三方を山地に囲まれている。一方、西部には出羽山地に属する丘陵状の山々が分布し、中央部には横手盆地が位置し、平坦地が広がっている。 本計画区は、国有林野の地域管理経営計画において「栗駒山・栃ヶ森山周辺森林生態系保護地域」や「葛根田川・玉川源流部森林生態系保護地域」が設定されており、豊かな自然環境が保全されている。さらに、自然公園法（昭和32年法律第161号）に基づき「十和田八幡平国立公園」や「栗駒国定公園」に指定されるなど、優れた景観を有する地域があることから、森林レクリエーション、保健休養の場として多くの人々に利用されている。 本計画区の国有林野の96%が保安林に指定されており、水源涵養や土砂流出防備等に重要な役割を果たしている。また、本計画区には県都秋田市が位置しており、水源涵養機能はもとより、山地災害防止機能や土壌保全機能等の森林の有する多面的機能の高度な発揮が期待されている。 林業・木材産業については、秋田スギの一大産地であり、国産材を扱う日本最大級の合板工場や大規模製材工場が所在している。さらに、木質バイオマス発電施設が建設されるなど、木材需要が増加していることから、国有林からの木材の安定供給への期待が高まっている。 森林の面積は、人工林を中心とする育成林が約40千ha、天然生林が約106千haとなっている。そのうち人工林について、主な樹種は、スギ（89%）となっており、齢級構成は、12齢級をピークとして、10齢級以上の林分が約8割であり、主伐、間伐を見据えた路網整備や主伐後の確実な更新とその後の保育が必要となっている。 このため、本事業は、森林の有する水源涵養機能、土砂流出防止機能、保健文化機能、地球温暖化の防止などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給による地域の活性化にも貢献するため、地域特性や現地の状況、社会情勢及び事業評価の結果を踏まえ、植栽や間伐等の森林整備を積極的に実施するとともに		

	に、森林整備の効率的な実施に必要な路網を整備する。 なお、事業実施に当たっては、伐採造林の一貫作業システムやコンテナ苗を活用した更新作業、下刈の省力化、列状間伐の実施等により低コストで効率的な作業を推進する。さらに、花粉の発生源となるスギ等の人工林の伐採・植替え等を促進するとともに、ナラ枯れ被害等が発生しているため、森林被害の防止対策や林地の保全に配慮した森林施業や路網整備における木材利用の促進に取り組む。 また、地元から、保育作業の省力化・低コスト化等新たな取組の情報共有など官民の連携を強めること、森林病虫害の森林被害防止対策に関する意見があったことから、関係機関と被害状況の情報共有を図るなど連携した取組を行うとともに、適切な森林被害の防止対策を講じる。 <table><tr><td>・主な事業内容</td><td>森林整備</td><td>更新面積</td><td>941ha</td></tr><tr><td></td><td></td><td>保育面積</td><td>7,573ha</td></tr><tr><td></td><td>路網整備</td><td>開設延長</td><td>17.18km</td></tr><tr><td></td><td></td><td>改良延長</td><td>0.63km</td></tr></table> ・総事業費 7,995,217 千円（税抜き 7,268,379 千円）	・主な事業内容	森林整備	更新面積	941ha			保育面積	7,573ha		路網整備	開設延長	17.18km			改良延長	0.63km
・主な事業内容	森林整備	更新面積	941ha														
		保育面積	7,573ha														
	路網整備	開設延長	17.18km														
		改良延長	0.63km														
費用便益分析	<table><tr><td>総便益（B）</td><td>27,991,401 千円</td></tr><tr><td>総費用（C）</td><td>10,096,917 千円</td></tr><tr><td>分析結果（B／C）</td><td>2.77</td></tr></table>	総便益（B）	27,991,401 千円	総費用（C）	10,096,917 千円	分析結果（B／C）	2.77										
総便益（B）	27,991,401 千円																
総費用（C）	10,096,917 千円																
分析結果（B／C）	2.77																
森林管理局事業評価技術検討会の意見	効率的な森林整備と路網整備を適切に進めることにより、森林の有する公益的機能の発揮による生活環境の向上と木材生産等を通じた地域振興への寄与が期待されることから、事業実施の必要性が認められる。																
評価結果	・必要性： 地球温暖化防止や国土保全、水源涵養等の公益的機能を発揮し事業の実施を通じて生産されるスギ・カラマツ等の木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業に寄与することから、本事業の必要性が認められる。 ・効率性： 森林整備では、一貫作業システム、下刈の省力化等による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとし、路網整備では、開設・改良により森林整備箇所へのアクセス性や集材効率を向上させるなど、効率的な森林整備と路網整備を行うこととしており、費用便益分析の結果からも本事業の効率性が認められる。 ・有効性： 森林の現況や路網の整備状況を踏まえた事業内容であり、計画的な保育等の適切な森林整備や、これと連携した路網整備により、森林の有する公益的機能を十分発揮させるものとなっているほか、完了後の評価結果を踏まえた事業内容となっており、本事業の有効性が認められる。																

	費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえ、新規採択チェックリストを用いて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が計画されているものと認められる。
--	---

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：秋田県

施行箇所：雄物川森林計画区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,762,468	
	流域貯水便益	1,886,560	
	水質浄化便益	7,721,980	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,226,179	
環境保全便益	炭素固定便益	1,745,969	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	2,752	
	木材利用増進便益	27,709	
	木材生産確保・増進便益	985,284	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	2,632,500	
総 便 益 (B)		27,991,401	
総 費 用 (C)		10,096,917	
費用便益比	$B \div C = \frac{27,991,401}{10,096,917} = 2.77$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{54,102,104}{13,939,103} = 3.88$
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{42,597,662}{12,344,976} = 3.45$

雄物川森林計画区位置図
（秋田森林管理署）
（秋田森林管理署湯沢支署）



森林整備位置図



地拵



植付



林道（林業専用道）開設



間伐



下刈

